I·O DATA

UltraSCSI/SCSI-2ک ۱ ☺

CD-R 12V CD-RW 10V

32V CD-RW

CDRW-SX1210B

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

75263-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,WindowsNTは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- BURN-Proofは、三洋電気株式会社の商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

CDRW-SX1210B 取扱説明書
2000.Jul.31 75263-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにＶｅｒシールをお貼りください

Ｖｅｒシール

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになれば、音楽CD、データCDなどのオリジナルCDを作成できます。
また、音楽CDを聴いたり、パソコンにデータを読み込んだりすることもできます。



【CD-R,CD-RWとは…】
CD-Rとは、一度だけ書き込みができるCD-ROMです。
CD-RWとは、書き込んだデータを消去し、再度書き込みができるCD-ROMです。

呼び方

Windows 98	Microsoft ® Windows ® 98 Operating Systemおよび Microsoft ® Windows ® 98 Operating System Second Editionの総称
Windows 95	Microsoft ® Windows ® 95 Operating System
Windows 98/95	Windows 98およびWindows 95の総称
Windows 2000	Microsoft ® Windows ® 2000 Professional
Windows NT 4.0	Microsoft ® WindowsNT ® Operating System Version 4.0 Workstation
Windows	Windows 98/95,Windows 2000およびWindows NT 4.0の総称
SC-UPCIシリーズ	SC-UPCI,SC-UPCIB,SC-UPCIN,SC-UPCINBの総称
SC-NBUNシリーズ	SC-NBUN,SC-NBUNA,SC-NBUNFの総称
SC-NBPCIシリーズ	SC-NBPCI,SC-NBPCIA,SC-NBPCIBの総称
CBSCⅡシリーズ	CBSCⅡ,CBSCⅡF,CBSCⅡAの総称
PCSC-Fシリーズ	PCSC-FP,PCSC-F,PCSC-FF,PCSC-FAの総称

本製品の特徴

・BURN-Proof機能搭載 SANYO製CD-RWドライブ「CRD-BP3」採用

BURN-Proof（バーンプルーフ）機能により、音楽CDの作成中やCD-ROMのバックアップ作業中のバッファアンダーランエラーを防止しますので、ディスクが無駄になりません。



【バッファアンダーランエラー】
データ書き込み中は、受信データを連続的にディスクに記録します。書き込み中に、他のアプリケーションを起動したり、読み込みエラーなどによりデータ転送が途切れる現象です。

・高速データ記録

12倍速(CD-Rディスク使用時)でデータの記録を行うため、CD作成のための作業時間が短縮されます。CD-RWディスクでは10倍速で書き込みが可能です。

・読み込み速度が最大32倍速

・オレンジブックPart Ⅱ＆Ⅲに準拠

CD-R/RW記録方式の世界規格 オレンジブックPartⅡ(CD-R)及びPartⅢ(CD-RW)に準拠していますので、「トラックアットワンス」（TRACK AT ONCE）、
「ディスクアットワンス」（DISC AT ONCE）、
「マルチセッション」（MULTISESSION）、
「パケットライト」（PACKET WRITE）の各モードに対応しています。



【「トラックアットワンス」（TRACK AT ONCE）】
書き込みをトラック単位で行う方法です。

【「ディスクアットワンス」（DISC AT ONCE）】
一度のセッション（1回の書き込み処理）ですべて書き込む方法です。

【「マルチセッション」（MULTISESSION）】
セッション単位でデータが追記できることです。

【「パケットライト」（PACKET WRITE）】
データを小さなパケットに分割して書き込む方式です。
ファイルを単純にコピーするように操作できますので、データを手軽にバックアップできます。

・CD-R/RWディスクの取り扱いに便利な電動トレイ方式採用

・ターミネータON/OFF機能搭載（16ページ参照）

・CD-R/RW書き込み用ソフトウェア2点添付

≪DigiOnDisc≫ ⇒初心者にお勧め

≪B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP ≫ ⇒パワーユーザーにお勧め

「DigiOnDiscとB's Recorder GOLD for Windows」または「DigiOnDiscとB's CLiP」を共存して使用することはできません。どちらか一方のみをインストールしてください。「B's Recorder GOLD for WindowsとB's CLiP」は同時使用できます。

さまざまなフォーマット ※ に対応しているので、これらのソフトウェアで作成したディスクは、CD-ROMドライブで読み込むことができます。ただし、CD-R/RWディスクへデータを書き込み中に他のアプリケーションを使用すると、書き込みエラー（バッファアンダーランエラー）が発生しますので、ご注意ください。
また、CD-RWディスクはマルチリード対応のCD-ROMドライブでのみ読み込むことができます。

※ CD-ROM(Mode 1),CD-ROM XA(Mode 2),CD-DA（デジタルオーディオ）,
Mixed Mode(CD-ROM+CD-DA),CD Extra(CD-DA+CD-ROM),ビデオCD,
CD TEXTの書き込みが可能です。
（英語、日本語のみをサポートしています。お使いのCDプレーヤーによっては
CD TEXT情報を正しく読み出せない場合があります。）

本書には、「DigiOnDisc」「B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP」の使用方法はご案内しておりません。使用する際は、必ずユーザーズマニュアルを参照してください。
「DigiOnDisc」については、弊社サポートセンターまでお問い合せください。（80ページ参照）
「B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP」については(株)ビー・エイチ・エーまでお問い合せください。（79ページ参照）



【CD TEXT】

音楽用のCDにアルバムタイトルや曲名などの文字情報を入れる規格です。半角文字で約6000文字格納可能です。漢字も利用でき、最大8カ国語が登録できます。

【マルチリード】

CD-ROMやCD-Rのみでなく、CD-RWディスクも読み出せるようにしたCD-ROMドライブの機能です。

・CD-ROMドライブ用高機能ユーティリティ添付（Windows 98/95専用）

※本製品には、Photo CD、音楽CDは添付しておりません。

◇CD Player

1. 音楽CDの再生
   お手持ちの音楽CDを再生。通常再生はもちろん、トラックサーチ（曲の頭だし）やリピート再生も可能です。
2. オーディオキャプチャ機能
   音楽CD上のオーディオトラックをWAVEファイルに変換します。
3. CD TEXT対応
   CD TEXTディスクに記録されているアルバムタイトル，トラックタイトル，アーティスト名などの情報を表示することができます。

◇PCD View

Photo CDの再生ソフト。表示データの簡単な編集、他の画像フォーマットへの変換、スライドショーなどが楽しめます。

◇CDセレクト

CD-ROMドライブに入っているCDメディアの種類を自動的に判別して、最適なプレーヤーやビューアを起動します。

この説明書の読み方

以下の流れに沿って、必要な個所をお読みください。



取り付け前の準備

本製品を取り付ける前の準備を行います。

取り付け

本製品をパソコンに取り付けます。

CD-R/RWへの書き込み

CD-R/RWへ書き込むためのソフトウェアのインストール方法や使用する際の注意事項を説明します。

もくじ

第1章 取り付け前の準備 ・・・・・・・・・・・・・・・ 1

１．箱の中の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２
２．ユーザー登録をしよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６
３．各部の名称・機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８
４．動作環境の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
５．注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

第2章 接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５

１．スイッチの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
２．パソコンとの接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
３．接続後の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
４．ディスクの取り扱い方法・・・・・・・・・・・・・・・・・３５

第3章 CD-R/RWへの書き込み・・・・・・・・・・ ３９

１．書き込み用ソフトウェア・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
２．DigiOnDisc ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
３．B's Recorder GOLD for Windows
+ B's CLiP・・・４４

付録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

音楽CDを聴く/PhotoCDを見る・・・・・・・・・・・・・・・・・50
困った時には・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・69
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・77

CD-ROMプレスサービスのご紹介・・・・・・・・・・・ 78
B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP
のお問い合わせ・・ 79
サポートセンターへのお問い合わせ・・・・・・・・ 80
CDR/RWサポートソフトのバージョンアップ・・・・・ 81
保証について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
修理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83

用語など

**CD-R,CD-RWとは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

第1章

取り付け前の準備

この章では、本製品をパソコンへ取り付ける前の準備について、順を追って説明しています。

1．箱の中の確認　2ページ

箱の中身を確認します。

内容物……2
別売オプション……5

2．ユーザー登録をしよう　6ページ

ユーザー登録を行います。

①弊社ユーザー登録（CDRW-SX1210B用）……6
②(株)デジオンユーザー登録(DigiOnDisc用)……7
③(株)ビー・エイチ・エーユーザー登録
（B's Recorder GOLD for Windows+ B's CLiP用）……7

3．各部の名称・機能　8ページ

本製品の各部の名称と機能を確認します。

4．動作環境の確認　10ページ

本製品に必要な動作環境を確認します。

5．注意事項　13ページ

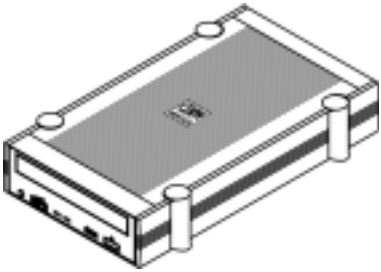
本製品を使用する際の注意事項です。

１．箱の中の確認

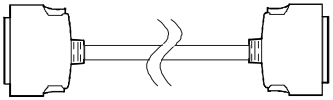
ご使用の前に以下のものがそろっていることを □ にチェックをつけながらご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

内容物



□ CDRWドライブ（1台）
［CDRW-SX1210B］



□ SCSIケーブル（50cm、1本）
［A50-A50-M］



□ ACアダプタ（1本）



□ CD-Rディスク（2枚）



□ CD-RWディスク（1枚）
［ハイスピード対応］

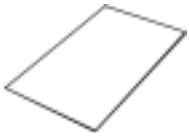
本製品には「SCSIインターフェイス」は添付されておりません。必要な場合は別途お買い求めください。
※SCSIインターフェイスについては、【4 動作環境の確認】(10ページ)をご参照ください。



☐ ハードウェア保証書
（1枚）



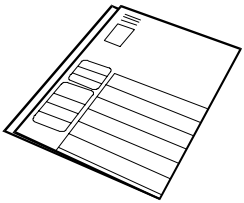
☐ ～nero mp3 Professional
優待販売のご案内～



☐ 著作権について（1枚）



☐ 本製品をPC-9821ノートシリーズ
でご使用の場合（1冊）



☐ ユーザー登録カード
（1枚）



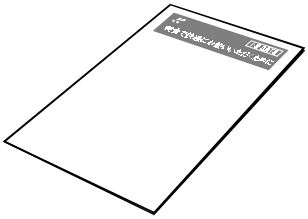
☐ ハードウェアシリアルNo.シール
（1枚）



☐ Verシール（1枚）



☑ CDRW-SX1210B取扱説明書



☐ 『安全で快適にお使いいただく
ために』（1冊）

添付のソフトウェアについては次ページをご覧ください。

●添付ソフトウェア



☐ ㈱デジオン製 DigiOnDisc（一式）

□DigiOnDisc CD-ROM
□DigiOnDisc取扱説明書
□ユーザー登録ハガキ
□DigiOnDiscサポート済みドライブリスト

CD-R/RW書き込みソフトウェア
⇒第３章参照



☐ CDR/RWシリーズサポートソフト（1枚）

ユーティリティ
(本製品を使用する上で必ずしもインストールする必要はありません。)⇒付録参照



☐ ㈱ビー・エイチ・エー製 B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP （一式）

□B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP CD-ROM
□B's Recorder GOLD取扱説明書
□B's CLiP取扱説明書
□シリアルナンバーシール
□ユーザー登録ハガキ
□B's Recorder GOLDサポート済みドライブリスト

CD-R/RW書き込みソフトウェア
⇒第３章参照

別売オプション

お使いになるSCSIインターフェイスのコネクタ形状が異なる場合は、下記の弊社製別売オプションを別途お買い求めください。

型番	長さ	タイプ
A50-A50 ※1	75cm	D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ⇔D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ SCSIｹｰﾌﾞﾙ
A50-A50-M ※1	50cm	同上
A50-A50-S ※1	30cm	同上
A50-A50-SS ※1	10cm	同上（フラットケーブルロック機能なし）
A50-H50 ※1	75cm	D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ⇔ｱﾝﾌｪﾉｰﾙﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ SCSIｹｰﾌﾞﾙ
A50-H50-S ※1	30cm	同上
F50-A50 ※1	75cm	ｱﾝﾌｪﾉｰﾙﾌﾙﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ⇔D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ SCSIｹｰﾌﾞﾙ
AP30-A50 ※1	48cm	HDI30ﾋﾟﾝ⇔D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ SCSIｹｰﾌﾞﾙ
AD-SC/AH	―	変換アダプタ D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ(ﾒｽ)⇔ｱﾝﾌｪﾉｰﾙﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ(ｵｽ)
AD-SC/HA	―	変換アダプタ ｱﾝﾌｪﾉｰﾙﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ(ﾒｽ)⇔D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ(ｵｽ)
AD-SC/AW	―	変換アダプタ D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ(ﾒｽ)⇔D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ68ﾋﾟﾝ(ｵｽ)
CBSCⅡ-A50-L ※2 (CBSCⅡシリーズ、PCSC-Fシリーズ専用)	75cm	専用25ﾋﾟﾝ⇔D-subﾊｰﾌﾋﾟｯﾁ50ﾋﾟﾝ **(SCSI機器の使用は本製品1台のみとなります。複数台のSCSI機器を使用する場合は、有償にて専用SCSIケーブルを提供させていただきますので、弊社サービス窓口（TEL:076-260-3663）までお問い合わせください。)**

※1：ハイ・インピーダンス タイプ
※2：デイジーチェーン接続にはご使用いただけません。

２．ユーザー登録をしよう

弊社では、サポートセンターでソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っておりますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録を行ってください。
弊社(CDRW-SX1210B用)と(株)デジオン(DigiOnDisc用)と(株)ビー・エイチ・エー社(B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP用)の３種類のユーザー登録を行います。

① 弊社ユーザー登録（CDRW-SX1210B用）

1 **添付のVerシールを貼ってください。**

ユーザー登録カード、「サポートソフト」ディスクの「Verシール」と書かれている欄、本書の巻末に貼ってください。

2 **添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼ってください。**

ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

3 **オンライン登録する場合（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/）**

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。
I-O DATA ホームページに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入して、ユーザー登録を行ってください。
オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

ハガキで登録する場合

ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

ユーザー登録カードによる登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

②（株)デジオンユーザー登録（DigiOnDisc用）

「DigiOnDisc」付属の(株)デジオン用「ユーザー登録カード」に必要な事項をご記入の上切手を貼り、必ず(株)デジオンまでご返送ください。

ユーザー登録を行えば、「DigiOnDisc」バージョンアップ時のアップグレード特典があります。また、他のデジオン製品の製品情報などをお送り致します。

・ユーザー登録の際、必要事項のご記入もれがあった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。
・(株)デジオン社では、DigiOnDiscのバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。

③（株)ビー・エイチ・エーユーザー登録（B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP用）

「B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP」付属の㈱ビー・エイチ・エー用「ユーザー登録カード」に必要な事項をご記入の上、必ず㈱ビー・エイチ・エーまでご返送ください。

・ユーザー登録の際、必要事項のご記入もれがあった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。
・㈱ビー・エイチ・エーでは、B's Recorder GOLD for Windowsのバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。
・「B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP」に関するお問い合わせは79ページをご覧ください。

3．各部の名称・機能

各部の名称および機能の確認を行います。

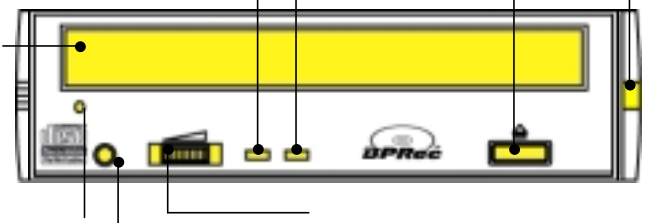
●前面

WRITE
点灯：書き込み

BUSY
点灯：アクセス中
点滅：読み込み･取り出し

Power
点灯：電源ON

トレイの出し入れを行います。



ヘッドホン端子に接続したヘッドホンの音量を調節します。右へ回すと音量が上がります。

ディスクが取り出せなくなった場合に使用します。
（38ページ参照）

ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを接続します。

BUSYランプまたはWRITEランプが点灯中は、絶対に本製品の電源を切ったり、パソコンをリセットしたりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

●背面

電源スイッチ

電源をON/OFFにします。



SCSI-IDスイッチ

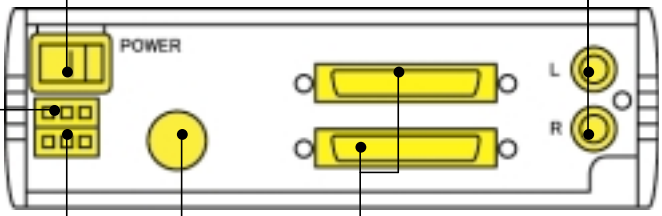
SCSI-IDを設定します。
出荷時設定は6です。
（16ページ参照）

ターミネータ機能

ターミネータON/OFFを設定します。
出荷時設定はON(1)です。（16ページ参照）

LINE OUT端子

ステレオアンプなどのオーディオ機器
を接続します。



SCSIコネクタ (D-subハーフピッチ50ピン)

パソコンや他のSCSI機器と接続するための
ケーブルと接続します。

DC端子

添付のACアダプタを接続します。

４．動作環境の確認

●対応機種・OS

使用するSCSIインターフェイスにより対応機種・OSが制限される場合があります。

対応機種	対応OS
CPU Pentium100MHz以上 (Pentium166MHz以上推奨)の **NEC PC98-NXシリーズ**	Windows 98(Second Edition含む) Windows 95 Windows 2000 Windows NT 4.0(SP4以降)
CPU Pentium100MHz以上 (Pentium166MHz以上推奨)の **DOS/Vマシン** **※弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っております。**	Windows 98(Second Edition含む) Windows 95 Windows 2000 Windows NT 4.0(SP4以降)
CPU Pentium100MHz以上 (Pentium166MHz以上推奨)の **NEC PC-9821シリーズ**	Windows 98(Second Edition含む) Windows 95 Windows NT 4.0(SP4以降)

本製品添付のB's CLiPの対応OSは、Windows 98（Second Edition含む）およびWindows 95のOSR2以降です。また、NEC PC-9821シリーズには未対応です。

●ハードディスク

以下の条件を満たすハードディスク ※

・転送レート2400KB/sec以上
・平均シークタイム20ms以下
・空き容量100MB以上

(800MB以上推奨、「ON THE FLY」で使用する場合は必要ありません。)

※弊社製 UHDIシリーズ,HDVS-Uシリーズ,HDVS-UMシリーズ,UHDS-Nシリーズなど

内蔵IDEハードディスクからの書き込み（作業用に使用する場合を含む）の際、バッファアンダーランエラー（転送が追いつかない現象）が発生し、書き込みに失敗することがあります。この場合は、SCSIハードディスクをお使いください。

●メモリ

搭載メモリ64MB以上

●対応SCSIインターフェイス

弊社製 SC-UPU2,SC-UWPCI ※1,※2 ,SC-UPCIシリーズ ※2 ,SC-PCI ※2 ,
SC-NBUNシリーズ,SC-NBPCIシリーズ,CBSCⅡシリーズ ※1,
PCSC-Fシリーズ ※1

Adaptec社製 AHA-2940シリーズ

※1 別途SCSIケーブルが必要になる場合があります。
※2 「SC-UPCI」,「SC-UWPCI」ではVer1.10以降、「SC-PCI」では Ver1.21以降の添付サポートソフトのバージョンをお使いください。(添付のVerシールで確認してください。)

・使用するSCSIインターフェイスが対応していないOSでは、本製品を使用することができません。
・上記以外のSCSIインターフェイスをお使いの場合、動作保証致しかねます。予めご了承ください。

●CD-ROMドライブ

CD-R/RWに書き込むとき、転送元をCD-ROMにする場合は、別紙「サポート済みCD-ROMドライブリスト」をご確認ください。

●推奨CD-R/RWディスク

推奨CD-Rディスク	三井化学, リコー, 太陽誘電, 三菱化学, TDK, コダック, 日立マクセル, 富士写真フィルム, パイオニア
推奨CD-RWディスク	リコー, 三菱化学, 日立マクセル

・推奨のディスク以外を使用した場合は、正常に書き込みができないことがあります。
・マルチセッション(MULTISESSION)により追記を行ったディスクは、マルチセッション対応のCD-ROMドライブ以外では最初に記録したセッションのみ読むことができます。
・本製品は80分（700MB）ディスクにも対応しております。

▼書き込み速度により利用できるCD-RWディスクが異なります。
（○：利用可能、空白：利用不可）

書き込み速度	2倍速書き込み可のCD-RWディスク	マルチスピード可のCD-RWディスク	ハイスピード※1可のCD-RWディスク
1倍速 ※2	○	○	
2倍速	○	○	
4倍速		○	○
8倍速			○
10倍速			○

※1 ハイスピードCD-RWドライブで記録・書き換えが可能です。4倍速書き込みまでのCD-RWドライブでは書き込みができません。（読み込みは可能です。）右のマークが目印です。



※2 本製品は、CD-RWディスクへの書き込み2倍速、4倍速、8倍速、10倍速のみに対応しています。

5．注意事項

本製品添付の『安全で快適にお使いいただくために』もあわせてご覧ください。
また、ソフトウェアなどの「README.TXT」を必ずご覧ください。

●使用する際の注意

■本製品を接続する際は、必ずパソコン本体の電源を切ってください。

■本製品は縦置きで使用できません。横置きでご使用ください。

■ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクタを持って抜いてください。

■本製品はSCAM機能に対応していませんので、SCSIインターフェイスのSCAM機能はOFF(無効)にしてください。



【SCAM】
SCSI Configured AutoMaticallyの略。通常、複数のSCSI周辺機器を接続する場合、それぞれ異なったSCSI-IDを設定します。
SCAM機能に対応しているSCSIインターフェイスとSCSI周辺機器を併用すると、SCSI-IDが重ならないように自動的に割り当てる機能です。

《SCSIインターフェイス設定時のご注意》

【弊社製SC-PCI, SC-NBUNｼﾘｰｽﾞ, PCSC-Fｼﾘｰｽﾞ, CBSCⅡｼﾘｰｽﾞの場合】
SCAM機能に対応していませんので設定の必要はありません。

【弊社製SC-UPCIシリーズ, SC-NBPCI, Adaptec社製AHA-2940シリーズの場合】
SCAM機能に対応しています。ただし、出荷時設定でSCAM機能はOFF（無効）になっていますので、そのままご使用ください。詳しくは各取扱説明書をご覧ください。

■内部のレーザー光線を直視すると視覚障害を起こす恐れがあります。内部を覗きこまないでください。

■本製品背面のファンには指を入れないでください。けがをする恐れがあります。

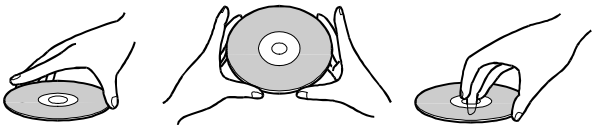
■本体内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。また、本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。

■レンズには触れないでください。音とびやデータの書き込み・読み込み時の不具合の原因になります。

市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

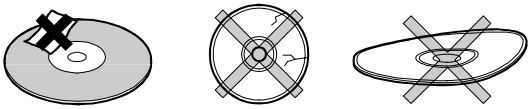
●ディスクの取り扱いについて

■ディスクを直接持つときは光沢のある場所に触らないようにしてください。両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。



■正しい再生をするためと、振動や回転音が大きくなるなどのトラブルを防ぐため、ディスクに紙やシールなどを貼らないでください。

■ひびの入ったディスクや反ってしまったディスクは絶対に使用しないでください。また、割れたディスクをテープ類や接着剤で貼りあわせて使用しないでください。高速回転しますので、欠陥のあるディスクは危険です。



●本製品添付のCD-R/RW書き込み用ソフトについて

■本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のCD-R/RW書き込み用ソフトを使用して万一障害が発生した場合は弊社ではサポートいたしかねます。ご使用のCD-R/RW書き込み用ソフトメーカーにお問い合わせください。

■書き込みに失敗したCD-R/RWディスクの保証は致しておりません。
本製品添付のCD-R/RWディスクでお試しの上、ご使用ください。

■CD-RWディスクの消去（初期化）は書き込みを行ったCD-R/RW書き込み用ソフトを使用してください。

●本製品の点検・修理は弊社修理センターにご依頼ください。

■詳細は83ページの【修理について】をご覧ください。

第2章

接続する

この章では、本製品をパソコンへ接続する方法について順を追って説明しています。

1．スイッチの設定　16ページ

接続する前に、本製品のスイッチを設定します。

スイッチを設定する……16

2．パソコンとの接続　18ページ

本製品をパソコンに接続します。

用意するもの……18
SCSIボードに接続する……19
SCSI PCカードに接続する……23
他のSCSI機器に接続する……28

3．接続後の確認　33ページ

本製品を接続した後に、パソコンで正常に使用できるかを確認します。

確認方法……33

4．ディスクの取り扱い方法　35ページ

ディスクの入れ方/取り出し方を確認します。

ディスクを入れる……35
ディスクを取り出す……37

１．スイッチの設定

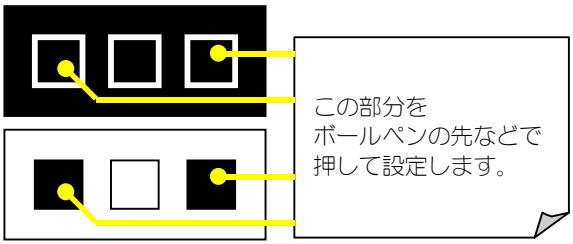
本製品のようなSCSI機器を使用する場合、SCSI-IDを設定する必要があります。

SCSI-IDの設定を行う前に本製品の電源が切れていることをご確認ください。

スイッチを設定する

①SCSI-IDスイッチ

②ターミネータ機能



●本製品の他にSCSI機器を使用しない場合

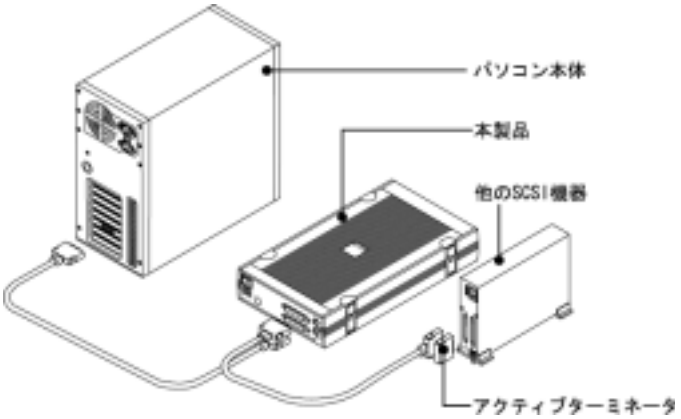
出荷時SCSI-ID=6、ターミネータ機能=1(ON)のまま、スイッチを変更する必要はありません。

●他にSCSI機器を使用する場合

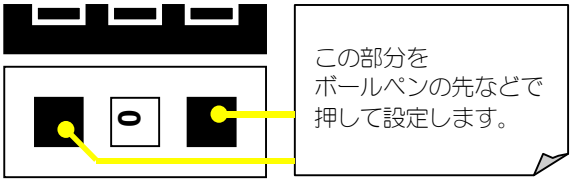
①他のSCSI機器と重複しないように本製品背面のSCSI-IDを変更してください。

SCSI-ID=7はSCSIインターフェイスで使用していますので、「7」には設定しないでください。

②下図のように、本製品の後ろにSCSI機器を接続する場合は、本製品のターミネータ設定を0(=OFF)に変更し、新たに接続した末端のSCSI機器にアクティブターミネータを取り付けてください。



上図のように接続する場合は、右のようにスイッチを「0」に設定します。



▲ターミネータ設定OFF

ターミネータ設定	説明
0	ターミネータ OFF
1	ターミネータ ON
2	設定しないでください
3	
4	
5	
6	
7	

本製品のターミネータ機能をON（1）にした場合は、本製品に外付アクティブターミネータをとりつけないでください。故障の原因となります。

２．パソコンとの接続

ここでは、本製品をパソコンに接続する方法を説明します。

用意するもの

- **SCSIインターフェイス（ボードまたはPCカード）**
- **本製品添付のSCSIケーブル**
  （使用するSCSIインターフェイスがPCカードの場合は、対応しているSCSIケーブル）
- **本製品添付のACアダプタ**
- **本製品（CDRW-SX1210B）**
- **ヘッドホン、スピーカー、オーディオケーブル**
  （本製品で音楽CDを聞く場合）

本製品をパソコンに接続するには、まずSCSIインターフェイスのセットアップを行う必要があります。各SCSIインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、セットアップの終了後に以下をご覧ください。

接続するSCSIインターフェイスの種類により、接続方法が異なります。
必要な個所のみ、お読みください。

弊社製「SC-PCI」「SC-UPCIシリーズ」「SC-NBPCI」などの
SCSIボードに接続する場合 → **次ページ**

弊社製「CBSCⅡシリーズ」「PCSC-Fシリーズ」などの
SCSI PCカードに接続する場合 → **23ページ**

デイジーチェーン接続
他のSCSI機器に接続する場合 → **28ページ**

コネクタの形状が異なる場合は、接続するSCSI機器のコネクタに合ったSCSIケーブル（または変換アダプタ）が別途必要になります。

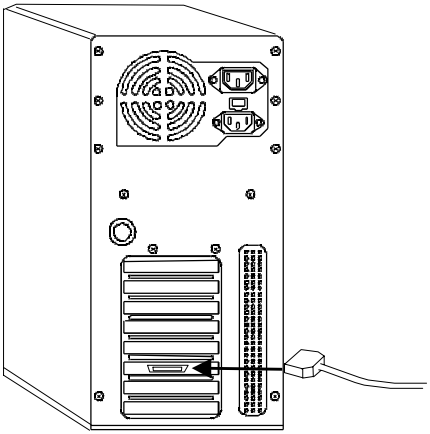
SCSIボードに接続する

1 パソコンの周辺機器および本体の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

コネクタを差し込んだり抜いたりする場合は、ピンが折れないようコネクタをまっすぐにして行ってください。ピンが折れると正常に動作しません。

2 SCSIボードに、添付のSCSIケーブルを接続します。

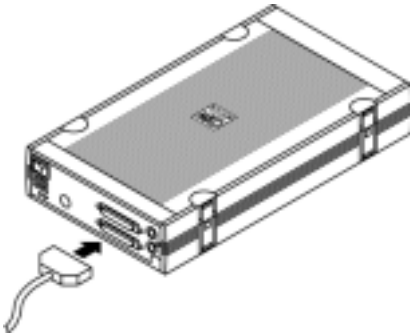
「カチッ」という音がするまでまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認してください。



コネクタの形状が異なる場合 → 5ページを参照し、コネクタの形状に合ったケーブルをご購入ください。

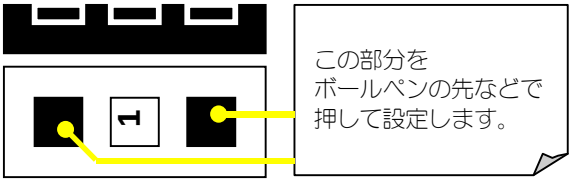
3 SCSIケーブルのもう一方を本製品のSCSIコネクタに接続します。

手順 **2** と同様に確実に接続してください。本製品のコネクタは、どちらに接続しても構いません。



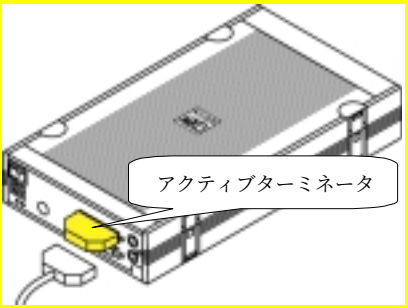
4 ターミネータ機能をONにします。

本製品背面のターミネータ機能を「１」（ON）にしてください。

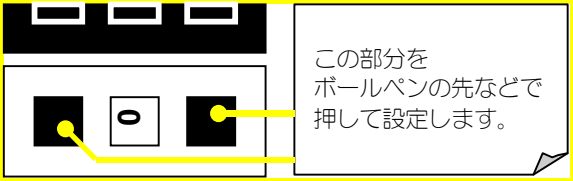


本製品を含めて、末端に接続されているSCSI機器には必ずターミネータを接続（ターミネータ機能をONに）してください。ターミネータを接続せずに使用すると、データの破壊などの誤動作の原因となります。本製品を末端で使用しない場合はターミネータ機能をOFF(0)に設定してください。

本製品には以下のようにアクティブターミネータを接続することもできます。



この場合は、本製品のターミネータ機能を「0」（OFF）にします。



アクティブターミネータを取り付けた場合は、本製品のターミネータ機能を「1」（ON）にしないでください。故障の原因となります。

5 本製品で音楽CDを聞く場合は、ヘッドホンやスピーカなどを接続します。

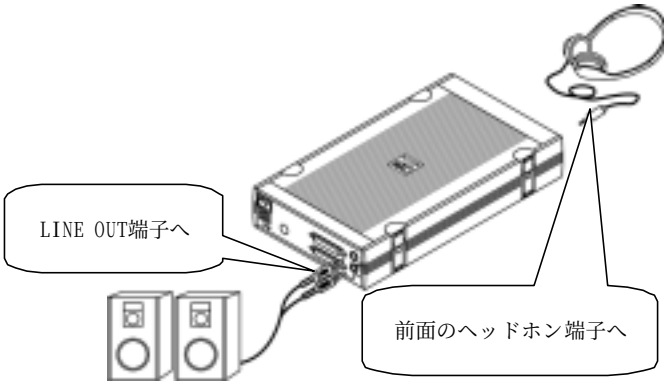
接続方法は以下の3種類あります。用途に応じて接続してください。

① 本製品前面のヘッドホン端子にステレオミニプラグ付きヘッドホンまたはヘッドホンステレオ用のスピーカーを接続します。

② 本製品背面のLINE OUT端子をサウンドボード（CD IN）やパソコン本体のオーディオコネクタまたはステレオアンプに接続します。

③ パソコンに装着したサウンドボード(SBシリーズなど)から再生する場合は、本製品前面のヘッドホン端子または背面のLINE OUT端子と、サウンドボードのCD IN(またはLINE IN)を市販のオーディオケーブルで接続してください。

※ヘッドホン、スピーカ、オーディオケーブルは本製品には付属しておりません。別途、お買い求めください。



6 添付のACアダプタを本製品のDC端子に接続し、電源コンセントに接続します。

本製品（を含む周辺機器）の電源を入れてから、パソコンの電源を入れてください。

以上で、本製品の接続は終了です。次に33ページへお進みください。

SCSI PCカードに接続する

1 パソコンの電源を切ります。

コネクタを差し込んだり抜いたりする場合は、ピンが折れないようコネクタをまっすぐにして行ってください。ピンが折れると正常に動作しません。

2 PCカードに添付のSCSIケーブルを本製品のコネクタに接続します。

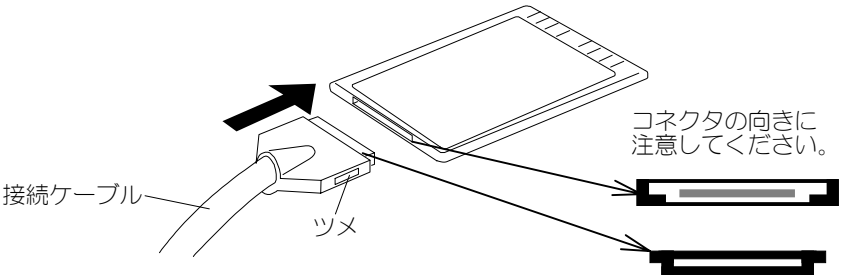
「カチッ」という音がするまで差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認してください。どちらに接続してもかまいません。



コネクタの形状が異なる場合 5ページを参照し、コネクタの形状に合ったケーブルをご購入ください。

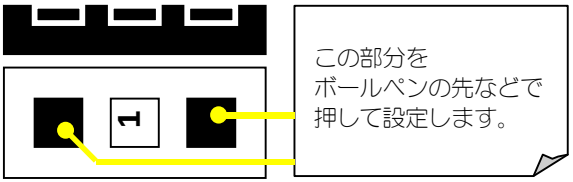
3 SCSIケーブルの残り一方をPCカードに接続します。

手順 **2** と同様に確実に接続してください。



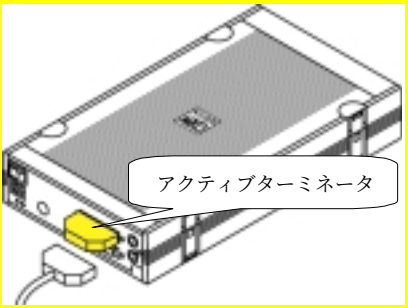
4 ターミネータ機能をONにします。

本製品背面のターミネータ機能を「１」（ON）にしてください。

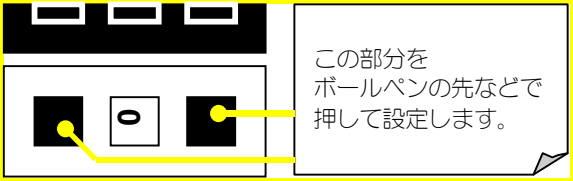


本製品を含めて、末端に接続されているSCSI機器には必ずターミネータを接続（ターミネータ機能をONに）してください。ターミネータを接続せずに使用すると、データの破壊などの誤動作の原因となります。本製品を末端で使用しない場合はターミネータ機能をOFF(O)に設定してください。

本製品には以下のようにアクティブターミネータを接続することもできます。



この場合は、本製品のターミネータ機能を「0」（OFF）にします。



アクティブターミネータを取り付けた場合は、本製品のターミネータ機能を「1」（ON）にしないでください。故障の原因となります。

5 本製品で音楽CDを聞く場合は、ヘッドホンやスピーカなどを接続します。

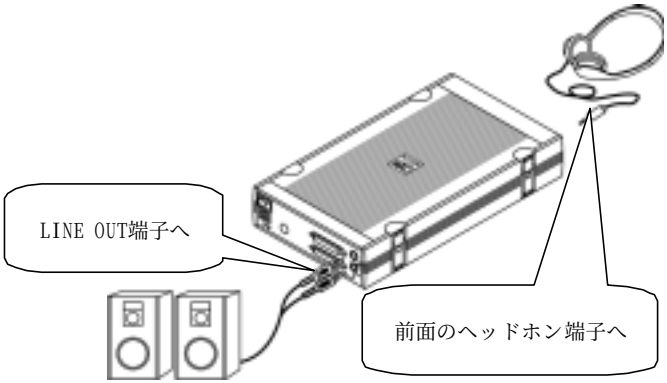
接続方法は以下の3種類あります。用途に応じて接続してください。

① 本製品前面のヘッドホン端子にステレオミニプラグ付きヘッドホンまたはヘッドホンステレオ用のスピーカーを接続します。

② 本製品背面のLINE OUT端子をサウンドボード（CD IN）やパソコン本体のオーディオコネクタまたはステレオアンプに接続します。

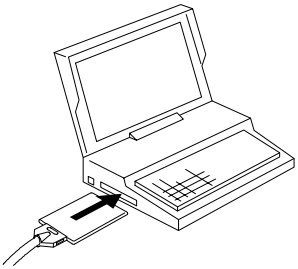
③ パソコンに装着したサウンドボード(SBシリーズなど)から再生する場合は、本製品前面のヘッドホン端子または背面のLINE OUT端子と、サウンドボードのCD IN(またはLINE IN)を市販のオーディオケーブルで接続してください。

※ヘッドホン、スピーカ、オーディオケーブルは本製品には付属しておりません。別途、お買い求めください。



6 PCカードをパソコンのPCカードスロットに挿入します。

PCカードをラベルが貼ってある面を上にしてパソコンのPCカードスロットへまっすぐに差し込みます。確実に差し込み、軽く引いても抜けないことを確認してください。



7 添付のACアダプタを本製品のDC端子に接続し、電源コンセントに接続します。

本製品（を含む周辺機器）の電源を入れてから、パソコンの電源を入れてください。

本製品接続済みのSCSI PCカードをPCカードスロットに挿入してから、パソコンの電源をONにしてください。
パソコン起動後に挿入すると、書き込み時に不具合がでる等、正常に動作しませんのでご注意ください。CD-R/RWドライブを接続しない場合は、パソコン起動後にPCカードを挿入しても問題ありません。

以上で、本製品の接続は終了です。次に33ページへお進みください。

他のSCSI機器に接続する

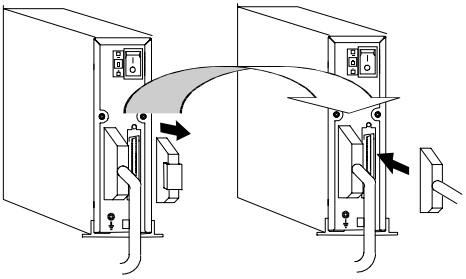
1 パソコンの周辺機器および本体の電源を切ります。

SCSIボードをご使用の場合は、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

コネクタを差し込んだり抜いたりする場合は、ピンが折れないようコネクタをまっすぐにして行ってください。ピンが折れると正常に動作しません。

2 すでに接続されているSCSI機器のターミネータを取り外し、添付のSCSIケーブルを接続します。

「カチッ」という音がするまで差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認してください。



コネクタの形状が異なる場合 → 5ページを参照し、コネクタの形状に合ったケーブルをご購入ください。

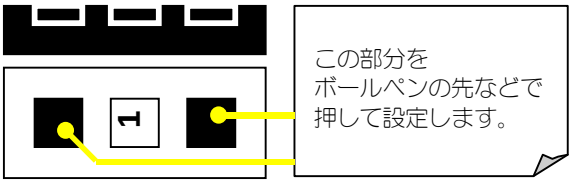
3 SCSIケーブルのもう一方を本製品のSCSIコネクタに接続します。

手順 **2** と同様に確実に接続してください。本製品のコネクタは、どちらに接続してもかまいません。



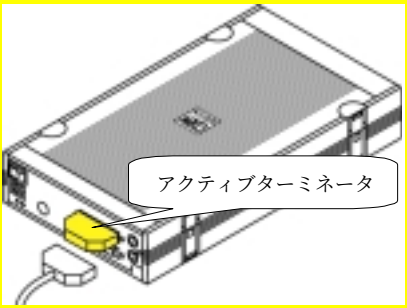
4 ターミネータ機能をONにします。

本製品背面のターミネータ機能を「１」（ON）にしてください。

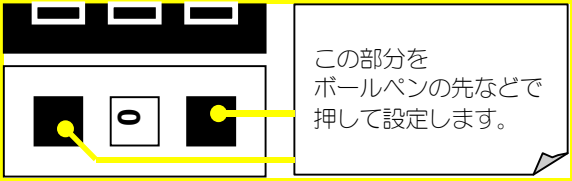


本製品を含めて、末端に接続されているSCSI機器には必ずターミネータを接続（ターミネータ機能をONに）してください。ターミネータを接続せずに使用すると、データの破壊などの誤動作の原因となります。本製品を末端で使用しない場合はターミネータ機能をOFF(O)に設定してください。

本製品には以下のようにアクティブターミネータを接続することもできます。



この場合は、本製品のターミネータ機能を「0」（OFF）にします。



アクティブターミネータを取り付けた場合は、本製品のターミネータ機能を「1」（ON）にしないでください。故障の原因となります。

5 本製品で音楽CDを聞く場合は、ヘッドホンやスピーカなどを接続します。

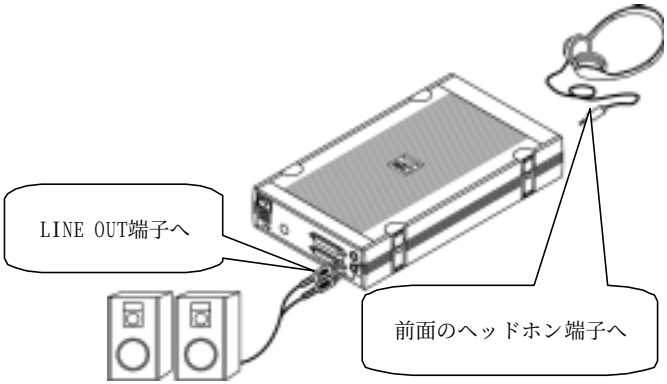
接続方法は以下の3種類あります。用途に応じて接続してください。

① 本製品前面のヘッドホン端子にステレオミニプラグ付きヘッドホンまたはヘッドホンステレオ用のスピーカーを接続します。

② 本製品背面のLINE OUT端子をサウンドボード（CD IN）やパソコン本体のオーディオコネクタまたはステレオアンプに接続します。

③ パソコンに装着したサウンドボード(SBシリーズなど)から再生する場合は、本製品前面のヘッドホン端子または背面のLINE OUT端子と、サウンドボードのCD IN(またはLINE IN)を市販のオーディオケーブルで接続してください。

※ヘッドホン、スピーカ、オーディオケーブルは本製品には付属しておりません。別途、お買い求めください。



6 添付のACアダプタを本製品のDC端子に接続し、電源コンセントに接続します。

本製品（を含む周辺機器）の電源を入れてから、パソコンの電源を入れてください。

SCSI PCカードをお使いの場合は、本製品接続済みのSCSI PCカードをPCカードスロットに挿入してから、パソコンの電源をONにしてください。
パソコン起動後に挿入すると、書き込み時に不具合がでる等、正常に動作しませんのでご注意ください。CD-R/RWドライブを接続しない場合は、パソコン起動後にPCカードを挿入しても問題ありません。

以上で、本製品の接続は終了です。次に33ページへお進みください。

３．接続後の確認

本製品のパソコンへの接続後、本製品及びパソコンの電源をONにして以下を確認してください。

確認方法

デスクトップ上の「ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコンをダブルクリックして、以下の画面のようにアイコンが追加されたことを確認してください。

（本製品に任意のCD-ROMディスクを挿入し、表示が変わったアイコンが本製品のアイコンです。）

例）



ドライブアイコンが表示されていない場合 **次ページをご覧ください。**

アイコンが追加されていることが確認できましたら、35ページへお進みください。

ドライブアイコンが表示されない場合は以下をご確認ください。

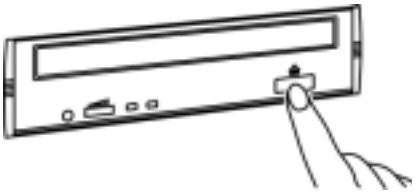
- ●『表示』メニューの『最新の情報に更新』をクリックしてみてください。
- ●本製品の電源が入っていることをご確認ください。
- ●ケーブルやコネクタの接続が正しく行われていることをご確認ください。（電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。）
- ●SCSIインターフェイスの接続・設定が正しく行われていることをご確認ください。（詳細については各SCSIインターフェイスの取扱説明書をご覧ください。）

4．ディスクの取り扱い方法

・ディスクの出し入れを行う場合は、本製品の電源をONにしてください。
・本製品は縦置きに対応しておりません。横置きでご使用ください。

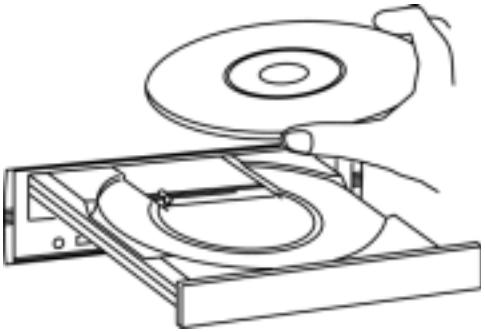
ディスクを入れる

1　本製品前面のイジェクトボタンを押します。



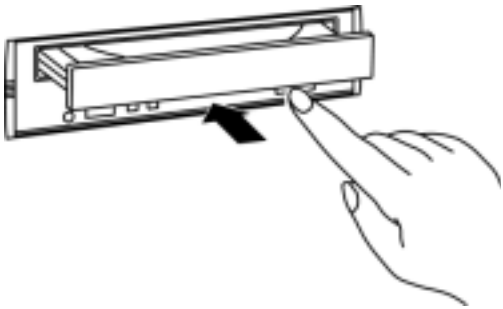
2　ディスクを入れます。

ディスクのラベル面を上にして、トレイの上にディスクを静かに置いてください。



・ディスクは確実にセットしてください。確実にセットしないと、ディスクが外れ傷つく恐れがあります。
・トレイを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。ドライブのローディング部が破損する恐れがあります。
・12cmCDを使うときは大きい円形のくぼみに、8cmCDを使うときは小さい円形のくぼみに乗せてください。両CDを同時にトレイに乗せないでください。
・ディスクの記録面には触れないでください。

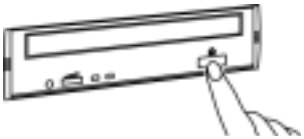
3　イジェクトボタンを押す、またはトレイをかるく押します。



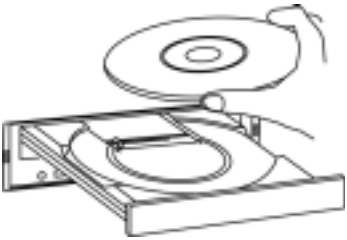
ディスクを取り出す

ドライブが傾いていないことを確認してから、ディスクを取り出してください。（ドライブが傾いた状態で取り出しを行うと、途中でディスクがドライブ内に落下する恐れがあります。）

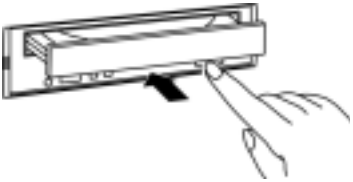
1 **本製品前面のイジェクトボタンを押します。**



2 **ディスクをゆっくり取り出します。**



3 **イジェクトボタンを押す、またはトレイをかるく押してトレイをドライブ内部に収納します。**



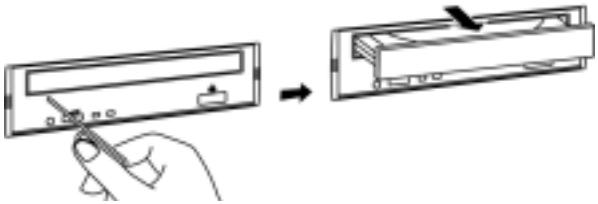
ディスクを排出後、トレイはドライブ内部にすみやかに収納してください。トレイが排出状態だとドライブ内部にゴミが侵入し、リードエラー・ライトエラーまたはドライブの故障の原因となる恐れがあります。

ディスクが取り出せない場合

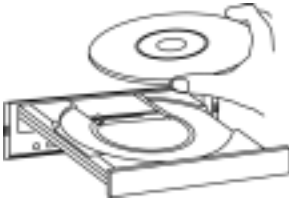
・以下の操作は、あくまで緊急のための操作です。むやみにご使用になると故障の原因となります。
・以下の操作は、必ずWindowsを終了し、本製品及びパソコン本体の電源をOFFにした状態で行ってください。
・ドライブが傾いていないことを確認してから、ディスクを取り出してください。（ドライブが傾いた状態で取り出しを行うと、途中でディスクがドライブ内に落下する恐れがあります。）
・以下の方法で取り出せなかった場合は、無理に引き出さず弊社修理係にご依頼ください。

必要なもの…太さ1.3㎜程度、長さ55㎜以上（指で持つ部分を除く）の針金1本。
大きめのペーパークリップを伸ばしても使用する事ができます。

1 強制イジェクトホールに針金を差し込み強く押します。



2 トレイが15㎜程度前に出るので手で更に引き出し、ディスクを取り出します。ディスクを取り出した後、トレイをかるく押し戻してください。



第3章

CD-R/RWへの書き込み

この章では、CD-R/RWへ書き込むためのソフトウェア「DigiOnDisc」および「B's Recorder GOLD + B's CLiP」のインストールおよび使用上の注意を説明します。

1．書き込み用ソフトウェア

40ページ

CD-R/RWディスクへ書き込むためのソフトウェアの概要です。

2．DigiOnDisc

41ページ

「DigiOnDisc」の説明です。

インストールする……42
起動する……42
書き込む……42
注意事項……43

3．B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP

44ページ

「B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP」の説明です。

インストールする……45
起動する……45
書き込む……45
注意事項……46

【著作権(音楽CDなど)に関して】
CD-ROMを作成するにあたり、自分で著作権を持っていない場合、あるいは著作権者からコピーの許可を得ていない場合は、著作権法に違反することになり、刑罰の対象となる場合があります。

１．書き込み用ソフトウェア

CD-R/RWへの書き込みはCD-R/RW書き込み用ソフトウェアで行います。
本製品には以下の①、②を添付しております。どちらかひとつをインストールして使用すれば、CD-R/RWへの書き込みをすることができます。

※使用するCD-R/RW書き込み用ソフトウェアを変更する場合は、現在使用しているソフトウェアをアンインストールした後にインストールしてください。

【選択】 どちらか一方のみを使用してください。

（以下の①、②を共存して使用することはできません。）

① ㈱デジオン製 『DigiOnDisc』 ⇒ ４１ページ

② ㈱ビー・エイチ・エー製

『B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP』 ⇒ ４４ページ

《選び方のポイント》

①『DigiOnDisc』 はパソコンを使いはじめたばかりで、操作が良く分からない方に最適です。

②『B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP』 は、パソコンを使い慣れていて、CD-R/RWディスクに書き込む際に、細かい設定をしたい方に最適です。

【パケットライトソフト「B's CLiP」について】
B's CLiPの対応OSは、Windows 98（Second Edition含む）およびWindows 95のOSR2以降です。また、NEC PC-9821シリーズには未対応です。

２．DigiOnDisc

《DigiOnDiscを使用する際のご注意》

- ここでは、DigiOnDiscの使用方法については記述しておりません。使用方法については、別冊の取扱説明書をご覧ください。
- 「DigiOnDisc」を使用する場合は、Internet Explorer4.0以上が必要です。
- ハードウェア環境およびソフトウェア環境については、第１章【４ 動作環境の確認】(10ページ)に記載されている内容に読み替えてください。
- ヘルプでの表記は、本書での表記とは異なる場合がありますので予めご了承ください。

『DigiOnDisc』に関するお問い合わせは…

弊社サポートセンターまでお問い合わせください。80ページをご覧ください。

インストールする

1 他のライティングソフト（「B's Recorder GOLD + B's CLiP」含む）をインストールされている場合は、削除してください。また、CD-ROMドライブを高速化するソフトウェアが組み込まれている場合も削除してください。

2 添付のDigiOnDisc取扱説明書を参照し、インストールしてください。

《削除（アンインストール）方法》
DigiOnDiscを使用しなくなった場合に削除（アンインストール）してください。
[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の[アプリケーションの追加と削除]から削除してください。

起動する

インストール終了後、タスクバーの[スタート]からDigiOnDiscが使用できるようになります。
[スタート]→[プログラム]→[DigiOn]→[DigiOnDisc]をクリックします。

書き込む

次ページの【注意事項】をご覧の上、添付のDigiOnDisc取扱説明書を参照し、書き込みを行ってください。

注意事項

●書き込みを行う際は、省電力機能は無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないでCD-R/RWへの書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。

●一度でも書き込みに失敗したCD-Rディスクは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。
また、書き込みに失敗したCD-RWディスクは「DigiOnDisc」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。（データの消去方法については、DigiOnDiscの取扱説明書をご覧ください。）

●いったん、「DigiOnDisc」と本製品で書き込みを行ったCD-R/RWディスクに追記する場合は、必ず「DigiOnDisc」と本製品を使用してください。

●ハードディスクに一旦データを書き込んでから、CD-Rディスクへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。

●BURN-Proofのチェックを外さないでください。（「CD-R/RWツール」の「情報取得」）

●CD-ROMドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意

DigiOnDiscが対応していないCD-ROM ※ の場合は、読み込み元ドライブ（コピー元）としてご利用いただくことができません。

※弊社CD-ROMドライブの場合は、別紙「DigiOnDiscサポート済みCD-ROMドライブリスト」にてご確認ください。
他社CD-ROMドライブの場合は、データCD・音楽CDどちらもDigiOnディスクがそのCD-ROMドライブに対応している必要があります。音楽CDの場合は、オーディオキャプチャにも対応している必要があります。

読み込み元として対応していない場合は、音楽CDのオーディオトラックの読み出し（WAVEファイルの読み込みドライブ）としてご利用いただけません。
その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。

●音楽データを書き込んだCD-R/RWディスクを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWディスクに対応している必要があります。

3. B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP

《B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiPを使用する際のご注意》

ここでは、B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiPの使用方法については記述しておりません。使用方法については、別冊の各ユーザーズマニュアルをご覧ください。

各ユーザーズマニュアルに記載していない新機能、記述されている内容と異なること、ドライブ別の制限事項につきましては、「B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP」CD-ROMの「DOC」フォルダ内をご確認ください。ファイルは以下の3種類あります。

1)Manual1.pdf：別冊のユーザーズマニュアルの内容と同様です。

2)Manual2.pdf：ユーザーズマニュアルに記載できなかった新機能や、実際と異なる内容の説明をしていますので、必ず別冊のユーザーズマニュアルより先にご覧ください。

3)GOLDxxx.pdf：ドライブ別制限事項について記載しています。

ファイルはPDF形式になっていますので、必要な場合は、以下の手順で「Adobe Acrobat Reader」をインストールした上でお読みください。

【Adobe Acrobat Readerインストール方法】

①「B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP」CD-ROMの「\Acrobat\Ar40jpn.exe」を実行してください。バージョンの違いによりファイル名の一部が異なる場合があります。

②あとは画面の指示にしたがってインストールしてください。

『B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP 』に関するお問い合わせは…

(株)ビー・エイチ・エーまでお問い合わせください。
79ページをご覧ください。

インストールする

1 他のライティングソフト（「DigiOnDisc」含む）をインストールされている場合は、削除してください。また、CD-ROMドライブを高速化するソフトウェアが組み込まれている場合も削除してください。

2 添付の「B's Recorder GOLDユーザーズマニュアル」または「B's CLiPユーザーズマニュアル」を参照し、インストールしてください。

《削除（アンインストール）方法》
各ソフトウェアを使用しなくなった場合は、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]で削除（アンインストール）を行ってください。

起動する

インストール終了後、タスクバーの[スタート]からインストールした各ソフトウェアが使用できるようになります。
B's Recorder GOLDの場合は、
[スタート]→[プログラム]→[B's Recorder GOLD]→[B's Recorder GOLD]をクリックすると起動します。
B's CLiPは、Winodwsが起動したときに、自動的に起動し常駐します。

書き込む

次ページからの【注意事項】を覧の上、本製品に添付の
「B's Recorder GOLDユーザーズマニュアル」または
「B's CLiPユーザーズマニュアル」を参照し、書き込みを行ってください。

注意事項

●省電力機能は無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないでCD-R/RWへの書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。

●マルチセッション(MULTISESSION)記録したCD-R/RWディスクの使用済み容量を知りたい場合は、「B's Recorder GOLD for Windows」の「メディア」メニューの「情報」を選択してください。エクスプローラの「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択すると表示される“使用領域”では、OSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。

●一度でも書き込みに失敗したCD-Rディスクは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。
また、書き込みに失敗したCD-RWディスクは「B's Recorder GOLD for Windows」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。

●いったん、「B's Recorder GOLD for Windows」と本製品で書き込みを行ったCD-R/RWディスクに追記する場合は、必ず「B's Recorder GOLD for Windows」と本製品を使用してください。また、いったん「B's CLiP」と本製品で書き込みを行ったCD-R/RWディスクに追記する場合は、必ず「B's CLiP」と本製品を使用してください。

●ヘルプをご使用の際のご注意

・ハードウェア環境及びソフトウェア環境については、10ページに記載されている内容に読み替えてください。
・ヘルプの表記は、本書での表記とは異なる場合がありますので予めご了承ください。

●BURN-Proofのチェックを外さないでください。（「環境設定」→「高度なドライブ設定」）

● ハードディスクに一旦データを書き込んでから、CD-Rディスクへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。

●CD-ROMドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意

B's Recorder GOLDが対応していないCD-ROM ※ の場合は、読み込み元ドライブ（コピー元）としてご利用いただくことができません。

※弊社CD-ROMドライブの場合は、別紙「B's Recorder GOLDサポート済みCD-ROMドライブリスト」にてご確認ください。
他社CD-ROMドライブの場合は、㈱ビー・エイチ・エーへ対応の有無をお問い合わせください。

読み込み元として対応していない場合は、音楽CDのオーディオトラックの読み出し（WAVEファイルの読み込みドライブ）としてご利用いただけません。その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。

●音楽データを書き込んだCD-R/RWディスクを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWディスクに対応している必要があります。

●書き込みの最中に「他のアプリケーションを起動しないでください」と表示されますが、本製品は、BURN-Proof技術を搭載していますので、B's Recorder GOLD以外のアプリケーションも同時に使用できます。ただし、CPUの性能や搭載メモリなどを考慮の上、極端に負荷のかかる環境でのご使用は避けてください。

MEMO

付録

必要に応じてお読みください。

音楽CDを聴く/PhotoCDを見る　50ページ

添付のサポートソフトの使用方法を説明します。

サポートソフトについて …… **50**
実行用ディスクを作る …… **51**
サポートソフトのインストール …… **52**
音楽を聴いてみよう（CD Player） …… **54**
Photo CDを見てみよう（PCD View） …… **63**
CDセレクトについて …… **65**

困った時には　69ページ

使用していて異常があった場合にご覧ください。

仕様　77ページ

本製品の仕様です。

音楽CDを聴く/PhotoCDを見る

ここでは、本製品添付のサポートソフトの使用方法を説明します。

サポートソフトについて

インストール行うと、以下のユーティリティが使用できるようになります。

以下のユーティリティはWindows 98/95専用です。Windows 2000およびWindows NT 4.0ではご使用いただけません。また、サポートソフトをインストールしなくても、本製品は使用できます。

◇CD Player

1. 音楽CDの再生
   お手持ちの音楽CDを再生はもちろん、トラックサーチ（曲の頭だし）やリピート再生もできます。
2. オーディオキャプチャ機能
   音楽CD上のオーディオトラックをWAVEファイルに変換できます。
3. CD TEXT対応
   CD TEXTディスクに記録されているアルバムタイトル, トラックタイトル, アーティスト名などの情報を表示することができます。

◇PCD View

お手持ちのPhoto CDの再生ができます。表示データの簡単な編集、他の画像フォーマットへの変換、スライドショーなどが楽しめます。

◇CDセレクト

CD-ROMドライブに入っているCDメディアの種類を自動的に判別して、最適なプレーヤーやビューアを起動します。

以上のユーティリティを使用する場合は、次ページ以降を参照し、インストールを行ってください。

実行用ディスクを作る

添付のサポートソフトは、必ず以下の手順でバックアップを取り、バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてお使いください。
ここでは、実行用ディスクの作り方を説明します。

1 **1.44MBでフォーマット済みの空きフロッピーディスク(3.5インチ2HD)を用意します。**

2 **サポートソフトディスクを書き込み禁止にします。**

3 **[マイコンピュータ]→[3.5インチ FD]を右クリックし、[ディスクのコピー]を選択します。**



4 **メッセージにしたがって、バックアップを取ります。**
サポートソフトディスクと空きのフロッピーディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、バックアップを取ります。

サポートソフトディスクを破損した場合の修理は有償です。必ずバックアップを取り、サポートソフトディスクは大切に保管してください。

サポートソフトのインストール

添付のサポートソフト（CD Player,PCD View,CDセレクト）をインストールします。

1 **Windowsを起動します。**

2 **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。**

3 **「CDR/RWシリーズサポートソフト」をフロッピーディスクドライブにセットします。**

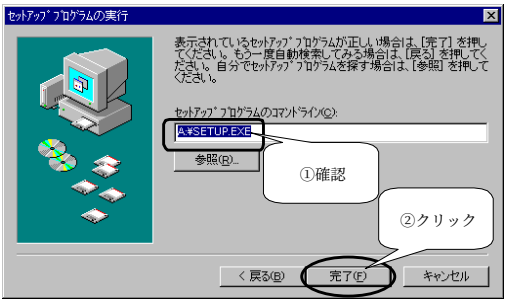
4 **[セットアップと削除]タブの[セットアップ]ボタンをクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。**



5 「セットアッププログラムのコマンドライン」で A:\SETUP.EXE

(フロッピーディスクドライブがAドライブの場合)

と表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。



6 後は、画面の指示に従って操作を進めます。

インストールが終了すると、ユーティリティが登録されます。



《ユーティリティの削除方法》

インストールしたユーティリティ(CD Player, PCD View, CDセレクト)を使用しなくなった場合に行ってください。

ユーティリティ内の「アンインストール」で、ユーティリティを削除します。

① Windowsを起動します。

② [スタート]→[プログラム]→[CD-ROMドライブ]→[アンインストール]をクリックします。

③ 画面の指示にしたがって、操作を進めてください。

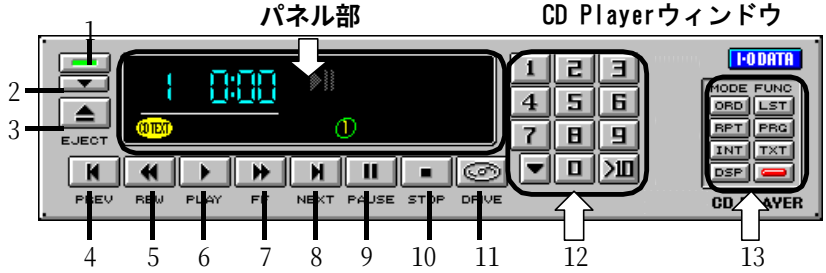
音楽を聴いてみよう（CD Player）

●各部の名称・機能

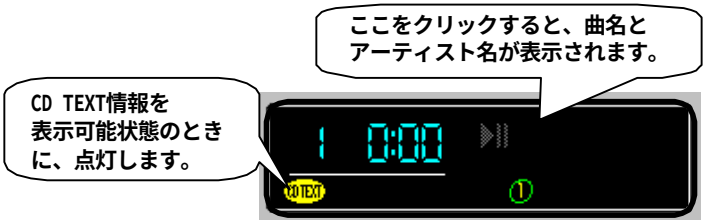
1 **Windowsを起動し、本製品に音楽CDをセットします。**

2 **[スタート]→[プログラム]→[CD-ROMドライブ]→[CD Player]をクリックします。**

CD Playerを起動します。



パネル部詳細



番号	名称	機能
1	 【終了】	CD Playerを終了します。
2	 【アイコン化】	CD Playerをアイコン化します。
3	 【イジェクト】	CDを取り出します。
4	 【前トラック】	トラック（曲）を戻します。
5	 【戻す】	10秒単位で再生ポイントを戻します。ボタンを押している間、操作を実行します。
6	 【再生】	再生します。
7	 【進める】	10秒単位で再生ポイントを進めます。ボタンを押している間、操作を実行します。
8	 【次トラック】	トラック（曲）を進めます。
9	 【一時停止】	再生を一時停止したり一時停止を解除します。
10	 【停止】	再生を停止します。
11	 【CD-ROMドライブ切替】	CD-ROMドライブを切り替えます。
12	 【トラック選択】	再生したいトラック番号を指定します。  ボタンを押すと、トラック10以降を指定するモードになりますので、さらに２桁の数字を入力してください。  ボタンを押すと、トラック番号のリストが表示されますので、直接トラック番号を指定できます。
13	 【ランダム再生】	押すたびにランダム再生（パネルに「RANDOM」と表示）と通常再生を切り替えます。 [PRG]ボタンでプログラム設定している場合は、「通常再生」→「プログラム再生」→「ランダム再生」を切り替えます。

番号	名称	機能
13	RPT【リピート】	押すたびに1曲リピート(パネルに「REPEAT 1」と表示)、全曲リピート(パネルに「REPEAT ALL」と表示)、リピート無を切り替えます。
	INT【イントロ再生】	押すたびにイントロ再生(パネルに「INTRO」と表示)と通常再生を切り替えます。
	DSP【表示変更】	押すたびに「1曲の経過時間」→「1曲の残り時間」→「全曲の経過時間」→「全曲の残り時間」の順でパネルに表示します。
	LST【リスト作成】	曲名や歌手名を入力でき、独自の「タイトルリスト」を作成できます。また、曲順設定時に曲名が表示されるようになります。
	PRG【曲順設定】	再生したい曲を選んだり、曲順を設定(プログラム)できます。
	TXT【CD TEXT情報参照】	CD TEXT対応音楽CDのCD TEXT情報を参照する機能です。 (【CD TEXT情報表示機能】(62ページ)参照)
	【オーディオキャプチャ機能】	音楽CD上のオーディオトラックをWAVEファイルに変換する機能です。 作成したWAVEファイルは、CD-R/RWドライブを使用してオーディオCDを作成する際のソースデータとしても使用できます。【オーディオキャプチャ機能】(58ページ)参照

- 「CD Player」の各機能は、CD-ROMドライブに音楽CDがセットされている場合のみ有効です。実行前に音楽CDがセットされていることをご確認ください。
- 音楽CDを再生する場合は、次の①～③の方法で接続していることをご確認ください。
  - ① 本製品前面のヘッドホン端子にステレオミニプラグ付きヘッドホンまたはヘッドホンステレオ用のスピーカーを接続する。
  - ② 本製品背面のLINE OUT端子を専用ケーブルでサウンドボード(CD IN)やパソコン本体のオーディオコネクタに接続する。
  - ③ 音楽用CDをパソコンに装着したサウンドボード(Creative Media製 SBシリーズなど)から再生する場合は、本製品前面のヘッドホン端子または背面のLINE OUT端子と、サウンドボードのCD IN(またはLINE IN)を市販のステレオケーブル（抵抗なし）で接続してください。
- オンラインヘルプについて

  キーボードでの操作方法や詳しい操作のために、オンラインヘルプを用意しました。「CD Player」画面のボタン以外の箇所をダブルクリックするとタイトルバーが表示されるので、左上のマーク()をクリックしてメニューを表示し、「ヘルプ」を選んでください。

●オーディオキャプチャ機能

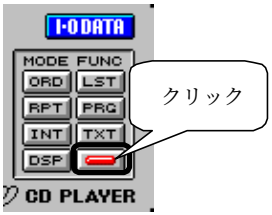
オーディオキャプチャ機能とは、音楽CD(CD-DA)上のオーディオトラックをWAVEファイルに変換する機能です。

- **オーディオキャプチャ機能は著作権を持っているか、もしくは著作権者からコピーの許可を得ている材料を再生する手助けをするように設計されています。自分で著作権を持っていない場合、あるいは著作権者からコピーの許可を得ていない場合は、著作権法に違反することになり、刑罰の対象となる場合があります。**
- **オーディオキャプチャ機能は、本製品専用の機能です。他のドライブでは使用できません。他のドライブで使用すると動作に正常に動作しない場合があります。**
- **WAVEファイルのフォーマットは以下の通りです。**
  - **サンプリングレート　44100Hz**
  - **サンプルサイズ　16Bit**
  - **チャネル数　2（ステレオ）**

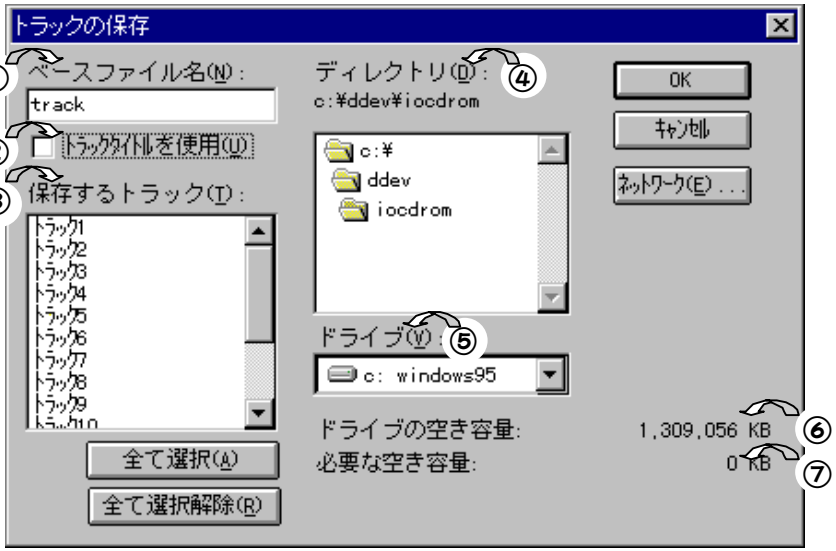
操作の流れ

1　Windowsを起動し、本製品に音楽CDをセットします。

2　ボタンをクリックしてオーディオキャプチャモードに入ります。

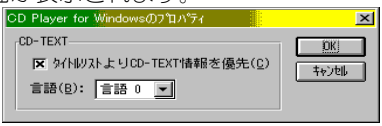


3 保存場所を指定します。



▼

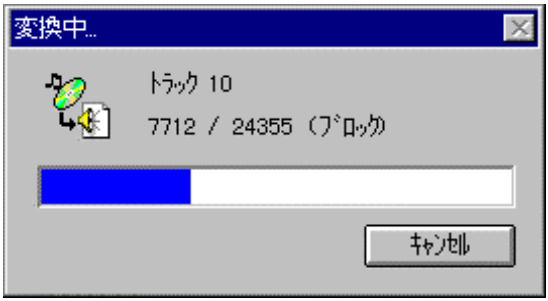
番号	名称	機能
①	ベースファイル名	WAVEファイル名を自動作成する際に、その元になる名前を指定します。 半角英数字5文字以内で指定します。 例) ベースファイル名を‘track’とした場合でトラック1、トラック2を保存する場合、各ファイル名は‘track001’‘track002’となります。 ただし、「② トラックタイトルを使用」をチェックした場合は、トラックタイトルが優先されます。

<table>
<tr><th>番号</th><th>名称</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>②</td><td>トラックタイトルを使用</td><td>「保存するトラック」に表示されているタイトル名をWAVEファイル名にしたい場合にチェックします。ファイル名は「トラック名.WAV」となります。
例：右図の「1.」をWAVEファイルにした場合は、「ﾄﾗｯｸ1.WAV」となります。
チェックした場合は、「ベースファイル名」は無視されます。
「保存するトラック」に表示されるタイトル名は以下のいずれかに設定できます。
1. 「CD TEXT情報のタイトル名」
2. LSTボタン(56ページ参照)で作成したタイトルリスト
・CD TEXT情報をタイトル名にできるのは、CD TEXT対応音楽CDのみです。
・「CD TEXT情報」および「タイトルリスト」が無い場合は、ベースファイル名がファイル名となります。
【上記1.2.の設定方法】
① 54ページの［CD Player］ウィンドウ上で右クリックし、［プロパティ］をクリックします。
② 以下の画面が表示されます。
 
チェックボックスをON ➔ CD TEXT情報を優先（初期設定）
チェックボックスのチェックをOFF
➔ タイトルリストを優先
  </td></tr>
<tr><td>③</td><td>保存するトラック</td><td>音楽CD上の変換したいトラックを、右図のようにクリックして指定します。
トラックは複数まとめて指定できます。
  </td></tr>
</table>

番号	名称	機能
④	ディレクトリ	WAVEファイルの保存先のディレクトリ(フォルダ)を指定します。
⑤	ドライブ	WAVEファイルの保存先のドライブを指定します。
⑥	ドライブの空き容量	現在選択されているドライブの空き容量を表示します。
⑦	必要な空き容量	現在選択されているトラックを保存するのに必要な空き容量の合計を表示します。

4 [OK]ボタンを押します。

オーディオトラックの変換を行います。変換中は、棒グラフで進行度を表示します。



・オーディオトラック読み出しの最大速度は、ドライブの仕様により CD-ROMのデータトラックを読み出すときの最大速度よりも低い場合があります。

・オーディオトラックの読み込み時には、ディスク表面の傷・汚れなどに対して非常に敏感になります。傷・汚れなどがあると、変換後のデータ（WAVEファイル）にノイズが入ることがあります。そのため、オーディオトラックの変換には傷のないディスクを使用し、表面の汚れ・埃などは取り除いてから変換を行ってください。

●CD TEX情報表示機能

CD TEXT情報表示機能とは、CD TEXT対応の音楽CD ※ に記録されている曲名とアーティスト名をウィンドウに表示することができ、また以下の操作でより詳しい情報を表示することができる機能です。（この機能はCD TEXTディスク再生時のみ使用可能です）

※CD TEXT情報の入っているオーディオCDには右のようなマークがついています。



●操作方法

1 開始

TXTボタンを押すと、「CD TEXT情報の参照」ウィンドウが表示されます。

2 操作

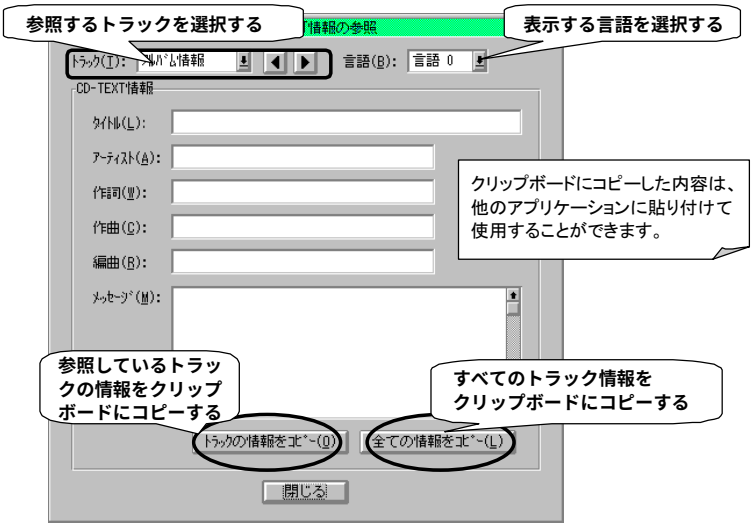


Photo CDを見てみよう（PCD View）

PCD Viewは、Photo CD規格によって記録された Photoを Windows上に表示します。

本製品には、Photo CDは添付されていません。別途ご購入のうえお楽しみください。

1 **Windowsを起動し、Photo CDをセットします。**

2 **[スタート]→[プログラム]→[CD-ROMドライブ]→[PCD View]をクリックします。**

3 **[ファイル]→[カタログシートを選ぶ]を選択し、Photo CDをセットしたドライブを選択します。**



Photo CD　　D

4 **CD-ROM中の Photoが一覧表示されます。**

「Photo」をマウスでクリックするとクリックした「Photo」が拡大表示されます。[ファイル]メニューの[開く]で1枚の写真のみ（各Photo のファイル）を選択して表示することもできます。

拡大表示された「Photo」をダブルクリックすると、元の一覧に戻ります。



メニューバーについて



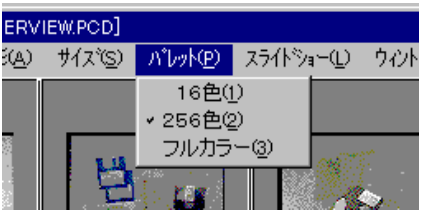
【変形(A)】

「Photo」の表示角度を変更します。左の中から選択できます。



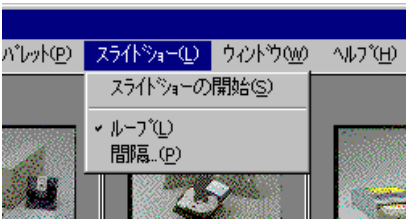
【サイズ(S)】

「Photo」表示のサイズ(ドット)を変更します。左の中から選択できます。



【パレット(P)】

「Photo」の色数を変更します。左の中から選択できます。(現在設定している解像度に設定してください)



【スライドショー(L)】

「Photo」を1点ずつ表示します。
[ループ]を選択すると最後の「Photo」を表示後、初めから繰り返します。
[間隔]を選択するとスライドショーでの「Photo」の表示時間を秒単位で設定できます。

CDセレクトについて

「CDセレクト」は、CD-ROMドライブに入っているCDを自動的に判別して、最適なプレーヤーやビューアを起動するアプリケーションです。
例えば音楽CDを挿入すると、自動的に音楽CDに関連付けられているアプリケーション(初期設定 PLAYCDEX.EXE)を起動し、音楽を再生させます。

CD-R/RWディスクへの書き込みを行う際には、必ず「CDセレクト」を終了させておいてください。終了しないと書き込みに失敗する場合があります。
《終了方法》
タスクバー上の[CDセレクト]アイコンを右クリックし、[CDセレクトの終了]を選択してください。

●CDセレクトを起動するには

[スタート]→[プログラム]→[CD-ROMドライブ]→[CDセレクト]をクリックして起動します。

●CDの確認および監視時間の設定

[CDセレクトのプロパティ]の[設定]タブで、以下の確認・設定を行うことができます。

CDの種類

CDの種類をドライブごとに表示します。ここを見ることによって、各CD-ROMドライブに今何のCDが入っているかを確認することができます。

監視時間

スライダーバーによって、監視時間の変更が可能です。



動作環境によっては、CDセレクトを起動している状態で動画(AVI/ビデオCDなど)を再生すると、コマ落ちが発生する場合があります。この場合は、CDセレクトの「監視時間」を長くするか、CDセレクトを終了してください。

●起動アプリケーションを設定するには

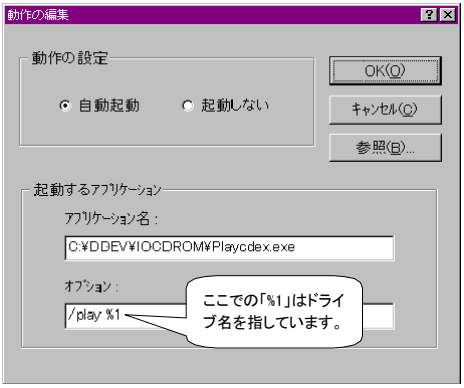
[スタート]→[プログラム]→[CD-ROMドライブ]→[CDセレクト]をクリックし、[CDメディアタイプ]を選択します。

起動アプリケーション



各CD(音楽CD/PHOTO CD/VIDEO CD/DVD Video)が挿入されたときに起動するアプリケーションを指定できます。同時にアプリケーションが起動しない設定も可能です。

設定方法



「登録されているタイプ」からCDのタイプを選択し、[編集]ボタンを押すと右の画面が表示されます。
起動したいアプリケーション名を[参照]ボタン等で、フルパスで設定してください。また、オプションを付けて起動したい場合は、オプション項目に入力してください。

「CDセレクト」が、CDメディアごとに起動させるアプリケーションのデフォルト設定は次の通りです。

	アプリケーション名	オプション
(1) 音楽CD	C:¥DDEV¥IOCDROM¥Playcdex.exe	/play %1
(2) PHOTO CD	C:¥DDEV¥IOCDROM¥Pcdv.exe	%1
(3) VIDEO CD	設定なし	設定なし
(4) DVD Video	設定なし	設定なし

●

ビデオCD再生時にコマ落ちする場合、下記の方法で症状を軽減することができます。「CDセレクトのプロパティ」の「その他」タブで、再生に使用していないドライブを選択し、[停止]ボタンをクリックします。次に、[更新]または[OK]ボタンをクリックしてください。



- **「CDセレクト」は、自動挿入がONに設定されているCD-ROMドライブしか対象としません。(CD-ROMドライブに対して自動挿入という機能が初期設定されています。これは、音楽CDやデータCDがCD-ROMドライブに挿入された場合、音楽CDならCDプレーヤーが起動して自動的に1曲目から再生され、データCDならAUTORUNが起動するという仕組みのことです。)**
- **ビデオCDを再生するには、MPEGデコーダ機能(MPEG Player等)が別途必要です。**
- **本製品では、DVDビデオは再生できません。**

困った時には

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。

・ご使用のSCSIインターフェイスのトラブルについては、各SCSIインターフェイスの取扱説明書を参照してください。
・CD-R/RW書き込み用ソフトウェアのトラブルについては、各取扱説明書もご覧ください。

状態 ⇒ 一般的なトラブル	参照ページ
本製品がパソコンに認識されない	７０
ディスクが取り出せない	７０
パワーランプが点灯しない	７１
パソコン起動中に止まり、Windowsが起動しない。	７１
BUSYランプが点灯しない。	７２
音が聞こえない	７２

状態 ⇒ ユーティリティ使用時	参照ページ
弊社「CD Player」を起動した際に、「CD Audioデバイスはすでに使用されています」とエラーがでる	７４
AVIファイルなどの再生でコマ落ちが起きる	７４
弊社「CD Player」のオーディオキャプチャを実行し、トラックを指定してキャプチャを行おうとすると、「トラックアドレスが取得できません」とエラーがでる	７５
弊社「PCD View」で画像を表示できない	７５

状態 ⇒ 書き込み用ソフトウェア使用時	参照ページ
書き込みに失敗する	７６

本製品がパソコンに認識されない

原因１ 本製品の電源が入っていない。

対処 本製品の電源を入れ、パソコンを再起動してください。

原因２ SCSIインターフェイスおよびSCSIケーブルが正しく設定・接続されていない。

対処 各SCSIインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、設定および接続が正しく行われていることをご確認ください。また、ケーブルのピンが折れたり曲がったりしていないかご確認ください。

原因３ 本製品と他のSCSI機器とのSCSI-IDが重複している。

対処 16ページをご覧になり、SCSI-IDの設定を行ってください。

ディスクが取り出せない

原因1 使用中のアプリケーションでイジェクトを禁止している場合があります。

対処 使用中のアプリケーションを終了後にイジェクトボタンを押してください。

原因２ トレイに何かが引っ掛かっている場合があります。

対処 38ページを参照し、取り出してください。

原因３ 本製品が故障している場合があります。

対処 弊社修理係にご依頼ください。（83ページ参照）

パワーランプが点灯しない

原因１ 本製品のパワースイッチがONになっていない場合があります。

対処 本製品のパワースイッチをONにしてください。

原因２ 電源コードが接続されていない場合があります。

対処 電源コードがAC100Vのコンセントに確実に接続されていることを確認してください。

原因３ 本製品が故障している場合があります。

対処 弊社修理係にご依頼ください。（83ページ参照）

パソコン起動中に止まり、Windowsが起動しない

原因１ SCSIインターフェイスが正しく設定されていない場合があります。

対処 SCSIインターフェイスが正しく設定されていることを確認してください。（各SCSIインターフェイスの取扱説明書を参照）

原因２ 本製品と他のSCSI機器とのSCSI-IDが重複している。

対処 16ページをご覧になり、SCSI-IDの設定を行ってください。

BUSYランプが点灯しない

原因１ ディスクが確実に入っていないことがあります。

対処 ディスクが確実に入っていることを確認してください。

原因２ ケーブルなどが確実に接続されていない場合があります。

対処 各ケーブルの接続を確認してください。

音が聞こえない

共通事項

原因１ 各機器を接続しているケーブルが確実に取り付けられていない場合があります。

対処 スピーカーやその他、各ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。
本製品のLINE OUT端子とパソコン本体のLINE IN端子を市販のオーディオケーブルで接続します。または、本製品のヘッドホン端子にヘッドホン等を接続してお聞きください。（詳細は、【２．パソコンとの接続】内18ページ以降をご覧ください。）

原因２ ディスクを入れていない。

対処 ディスクを入れてください。

原因３ ディスクが汚れている。

対処 柔らかい布で、内側から外側へ軽くふいてください。

データCDの場合

原因４	音楽データが入っていないディスクを入れている。
対処	音楽データが入っているディスクを使用してください。

原因５	データCD内の音声データファイルを再生するソフトウェアがインストールされていない
対処	データCD内の音声データファイルを再生するソフトウェアをインストールしてください。

音楽CD（トラック）の場合

原因６	音声ボリュームが「0」に設定されている。
対処	①タスクバー上のスピーカアイコンをダブルクリックします。 ②[オプション]→[プロパティ]をクリックし、[表示するコントロール]で[ライン入力]にチェックを入れます。 ③[OK]ボタンをクリックし、[ライン入力]の[選択]にチェックを入れます。または、ライン入力の[ミュート]のチェックを外します。 ④ボリュームを調節します。 ⑤ウィンドウ右上の[ｘ]ボタンをクリックし、設定ウィンドウを終了します。

原因７	ヘッドホンボリュームの音量が最小になっている場合があります。
対処	ヘッドホンボリュームの音量を上げて(右に回す)みてください。

原因８	ヘッドホン端子にプラグがしっかり接続されていない。
対処	プラグをしっかりと接続します。

原因９	ヘッドホンやスピーカなどが故障している。
対処	他の機器で使用してみるなどして、ご使用のヘッドフォンが正常か確認してください。

弊社「CD Player」を起動した際に、「CD Audioデバイスはすでに使用されています」とエラーがでる

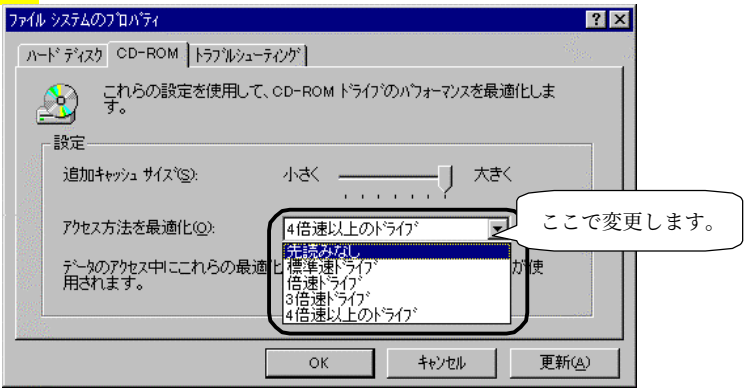
原因 すでに他のCD Audioプレイヤが起動している場合があります。

対処 他のCD Audioプレイヤを終了し、弊社CD Playerをご使用ください。

AVIファイル等の再生でコマ落ちがおきる

原因１ Windows 98/95の先読みの設定が、本製品と合っていません。

対処
①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から[システム]アイコンをダブルクリックします。
②[システムのプロパティ]画面の[パフォーマンス]→[ファイルシステム]→[CD-ROM]で先読みの設定を変えることで現象を回避できる場合があります。（設定の変更は、[先読みなし]→[3倍速ドライブ]→[倍速ドライブ]→[標準速ドライブ]の順に行ってください。）



原因２	CDセレクトが起動しています。CDセレクトは、一定間隔でCDが挿入されていることを監視しています。そのため、AVIファイルの再生に負担をかける場合があります。
対処	CDセレクトの監視時間を長くするか、CDセレクトを終了させてください。(65ページ参照)

弊社「CD Player」のオーディオキャプチャを実行し、トラックを指定してキャプチャを行おうとすると、「トラックアドレスが取得できません」とエラーがでる

原因１	キャプチャを行おうとしているディスクが汚れている。
対処	ディスクのクリーニングを行ってみてください。

原因２	WINASPI.DLLファイルがインストールされていない。
対処	WINASPI.DLLは通常Windows 98/95をインストールした際に標準で以下のフォルダに組み込まれます。 「Windows 98/95がインストールされているフォルダのSYSTEMフォルダ内」 無い場合はWindows 98/95を再度インストールしてください。

弊社「PCD View」で画像を表示できない

原因	メモリ不足です。
対処	スワップファイルを設定して、使用可能メモリ容量を増やしてください。

書き込みに失敗する

原因１ BURN-Proofが機能していない。

対処

●「DigiOnDisc」の場合

「CD-R/RWツール」を選択し、「情報取得」から“BURN-Proofを有効にする”にチェックしてください。

●「B's Recorder GOLD for Windows」の場合

「環境設定」→「高度なドライブ設定」で、“BURN-Proof転送速度エラー回避”をONにしてください。

原因２ Windows 98で使用していて、「ハードディスクの電源を切る」がONになっている。

対処

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[電源の管理]をダブルクリックします。

②[ハードディスクの電源を切る]を[なし]にしてください。

仕様

インターフェイス仕様	Ultra SCSI	
トレイ方式	電動ディスクトレイ方式	
データバッファサイズ	2MB	
書き込み/ 読み出し速度	書き込み速度	12倍：1800KB/Sec（CD-R） 10倍：1500KB/Sec（CD-RW） 8倍：1200KB/Sec（CD-R/RW） 4倍：600KB/Sec（CD-R/RW） 2倍：300KB/Sec（CD-R/RW） 1倍：150KB/Sec（CD-R）
	読み出し速度	32倍：4800KB/Sec（最大）
最大データ転送速度 （理論値）	20MB/Sec	
平均シークタイム	150msec	
対応フォーマット	CD-ROM（Mode1）、CD-ROM XA（Mode2）、 CD-DA（Audio CD）、Photo CD、CD Extra、 CD-I、ビデオCD、CD TEXT	
書き込み方法	Track at Once、Disk at Once、Packet Write	
アナログライン出力	0.7Vrms	
ヘッドホン出力	0.7Vrms	
電源仕様	AC100V±10% 50/60Hz	
電源出力	DC5V：1.5A DC12V：1.0A	
動作温度	+5℃～+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）	
動作湿度	20%～80%（結露なきこと）	
外形寸法 （突起物除く）	162(W)×240(D)×48(H)mm	
質量	1.5Kg	

CD-ROMプレスサービスのご紹介

CD-ROMのカスタムプレス（大量生産）は下記までご相談ください。

■

株式会社マクセルハイテック　営業本部　メディア営業部CD-ROM担当
〒101-0024　東京都千代田区神田和泉町1-3-1三恵ビル新館7F
TEL：03(5820)5901　FAX：03(5820)5930

■

500枚以上でお願い致します。納入はマスター受付より約1ヶ月後です。
価格・条件など、詳しくは上記までご相談ください。

B's Recorder GOLD for Windows+ B's CLiP
のお問い合わせ

B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP
に関するお問い合わせ

B's Recorder GOLD for Windows+ B's CLiP に関しては、
ビー・エイチ・エー社までお問い合わせください。

●お問い合わせ先

株式会社ビー･エイチ･エー　サポートセンター
TEL 06-6378-3568
FAX 06-6378-3336
受付時間：月～金曜日　10:00～12:00　13:00～17:00
（夏季･年末年始特定休業日、祝祭日を除く）

「ビー・エイチ・エー社製 B's Recorder GOLD for Windows + B's CLiP」のサポート、バージョンアップサービスは弊社では行っておりません。
バージョンアップをご希望される場合は添付の「B's Recorder GOLD for Windows 用ユーザー登録カード」にてユーザー登録を行った後、㈱ビー・エイチ・エー社にご確認ください。

サポートセンターへのお問い合わせ

弊社サポートセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

■

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
6. 現在の状態(「マイコンピュータにCD-ROMアイコンが表示されない」などの内容)。

■

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	**http://www.iodata.co.jp/support/** 「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを使用してE-mailをお送りください。
@nifty	ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)サポート会議室

■

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
住所　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「CDRW-SX1210B」係　宛

■

電話番号	本社　**076-260-3366** 東京　**03-3254-0301**
受け付け時間	**9:30～19:00** 月～金曜日**(**祝祭日を除く**)**

■**FAX**

FAX番号	本社　076-260-3360 東京　03-3254-9055
宛先	株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター「CDRW-SX1210B」係　宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

B's Recorder GOLD + B's CLiPに関するお問い合わせは前ページをご覧ください。

CDR/RWシリーズサポートソフト のバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、サービス窓口からの郵送はユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	**http://www.iodata.co.jp/** →「サポート・ライブラリ」
@nifty	ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)のﾗｲﾌﾞﾗﾘ5(LIB5)

■

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町**2**丁目**84**番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第**2**ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「**CDRW-SX1210B**」　サービス窓口　宛

電話番号　**076-260-3663**
受付時間　**9:30**～**12:00**　**13:00**～**17:00**　月～金曜日**(**祝祭日を除く**)**

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
●このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやサービス窓口ではお受けできません。

保証について

■

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内致しますので、修理するか否かをご検討の上、往復ハガキにご記入いただきご返送ください。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
・弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。
・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。
・書き込みに失敗したCD-R/RWディスク。

修理について

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
住所　株式会社アイ・オー・データ機器
「CDRW-SX1210B」　修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせについて

受付窓口	「CDRW-SX1210B」サービス窓口
電話番号	金沢　**076-260-3663**
受付時間	9:30～12:00　13:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。